

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

心、繋がります。



「ひとりに生まれて良かった…」

鳥取県の希望と誇り



自民党公認
はまざき
浜崎
しんいち

浜崎しんいち(晋一)プロフィール

1954年 12月17日生まれ、鳥取県立鳥取西高等学校在学中は陸上部に所属
1978年 成城大学経済学部経営学科卒

議会・政党活動

2007年 鳥取県議会議員初当選 現在3期目
自由民主党鳥取県支部連合会 総務会長、県議会自由民主党 幹事長

その他役職

鳥取県上競技協会 会長
鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会 会長
鳥取県車椅子バスケットボール協会 会長
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会 会長
鳥取県立鳥取西高等学校教育後援会 会長
若草学園後援会 会長
静風地区体育会 会長
スペシャルオリンピックス日本・鳥取 評議員
鳥取城北高等学校相模部後援会 会長
鳥取県相模連盟 副会長
石浦関後援会 会長

守ります

心をつなぎ安心して暮らせる地域づくり

- あいサポート運動の推進による障がい児者に優しい共生社会
- 医療・介護人材の確保と医療的ケア児の支援体制の充実
- 特別支援教育の充実と障がい児者の自立支援
- 災害に負けないしなやかな県土づくり

魅せます

誇りある魅力あふれる地域づくり

- 若者、高齢者、子育て世代、女性が活躍できる環境づくり
- 豊かな心を育む人づくり教育の推進
- 関係人口の拡大による地域の活力・魅力UP
- 陸上競技・相撲をはじめとするスポーツ振興と障がい者スポーツの充実

磨きます

希望と活力ある地域づくり

- 強い絆によるまちなかや中山間地域のコミュニティ再生
- 地元企業を支える人材育成と豊かさを実感できる経済振興
- 6次産業化や担い手育成による元気な農林水産業の振興
- 地域経済の活性化につながる観光振興

人にやさしく活力ある県政へ!



たにむら
谷村
すけ
すけ
(40歳)

4年前まで県政で活動させていたばかりから感謝申し上げます。今回は皆様から受けた御恩に感謝し、報告を志して戦う覚悟でございます。選挙中ではできるだけ多くの集落を多く設けたいと思っております。ご理解ご協力のうえ、ご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

谷村 悠介

重点政策

- 一 防災対策や福祉・医療・教育の充実**
防災対策を推進するため、河川や道路の改修・整備を積極的に進めます。待機高齢者、児童の解消を進め、子育て支援や教育、医療環境の向上を働きかけます。
- 二 交通の利便性の向上**
鳥取道と県道に接続し、国道53号線等の渋滞緩和を提言します。足となる公共交通の確保、拡充に取り組み、高速交通網の整備を促進します。
- 三 所得向上と経済の活性化**
もつかる農林水産業へ支援し、最低賃金の引き上げなど、所得向上に努めます。山陰の中心都市として活力ある鳥取市となるよう力を尽くします。

政治姿勢

- 一 弱者救済と正義感**
高齢者、障がい者など弱い方々にもやさしい地域づくりになるよう支えます。差別や弱い者いじめを許さない。多様な価値観を認める社会を目指します。住民目線で税金のムダ遣い、バラまきに対しては適正な使用を提案します。
- 二 個性ある保守政治家へ**
我が国や地域の文化・伝統を守り育て、寛大な保守の理念を貫きます。政治、歴史、建築などの知識を生かして、自分しかできない提案・行動をします。

※谷村ゆうすけの政治公約の全文は、谷村悠介八幡家としてホームページでご覧いただけます。

【経歴】
昭和53年、鳥取市(茶屋)生まれ
美保南小、鳥取南中卒業、鳥取西高卒業
日本大学入学 東海大学卒業
平成23年4月 鳥取県議会議員選挙で初当選
元鳥取市若者会議委員
元鳥取市若者会議所委員
元日本会議鳥取県本部委員
前美保南まちづくり協議会青年会会長

【プロフィール】
【家族】 自分、父(元教員)、母(佐治町出身)、
【趣味】 建築・美術鑑賞、読書、カラオケ、歴史探求など
【専門】 日本史、建築(大学で日本建築史専攻、建築会社に勤務)

みなさまの声を積極的に聞きます。 選挙事務所(4/6まで) 〒680-0864 鳥取市吉成2-15-14(14) 102号 TEL0857-26-0388 詳細は 谷村ゆうすけ 検索 谷村ゆうすけホームページ http://www.tanimura-y.com

県民の声が届く県政を

重点課題



自由民主党公認
やすひこ
前田
やすひこ

- 1 鳥取県の未来を信じ、未来に羽ばたくための県政の基盤づくりに努めます。**
鳥取県の地域発展や経済振興のために県内高速道路網の早期完成や、安心安全な県民生活の実現のため医師、看護師・介護士の確保をしなければなりません。また、子育て王国鳥取県をめざすため保育制度の充実とともに、働くお母さんへの支援も必要です。
- 2 今、何よりも急ぐ、県民の働く場の確保に努めます。**
鳥取県の人口は年々減少しており、18才〜29才の若者の多くが県外へ流出しています。その原因は、郷土で生活したくても、働く場がないためです。景気は上向いて採用も活発に行われていると言われているが、地元企業では明るさは見えたとはいえず、まだまだ状況です。国・県・市町村の役割は大きくなっていきます。企業活動を活発にさせるための資金の貸付や市場開拓の支援、企業誘致を進めるとともに地元で働くための人材育成を行う必要があります。官民の総力をあげて雇用の場を確保できるような環境づくりや制度づくりに全力をあげます。
- 3 議員の役割、それは何よりも皆様の声に行政に反映させることです。私は、現場主義に努めます。**
行政は、知事を筆頭とする執行部だけで行うものではありません。知事と車の両輪の一方を担う議会の力を結集してこそ、地方自治は円滑に進められます。私は、普段から皆様の中に入り、皆様の声を聞き、行政に足りないこと改善すべきことなどを指摘し、皆様が主役の県政にしていくことこそ議員の本務だと思っております。

私は16年間現場主義に徹し、皆様の声を現場で伝えて県政に反映させてきました。現場主義こそ私の政治の原点であり、更に全うしたいと思っております。

決断と実行

《三つの信条》

- 1 回復感のない鳥取の景気と雇用問題**
- 2 安心して生み育てられる子育て支援**
- 3 高齢者・障がい者が安心して暮らせる少子高齢化への対応**



中島
のりお

人口減少問題は、これから益々、私たちの生活に影響を及ぼします。安定した収入が得られる働く場があり、家庭を作り、子育てすることが一番の解決策です。産業活性化には、業種を問わず人と物のスムーズな移動が必要で、この為には一刻も早い自動車専用道路網の全面開通が重要です。

また国・県は、高齢者認知症者に運転免許の返上を薦める時代で、買い物や医者に行けない交通弱者が急増しており、早急に持続可能な生活交通の確保など、市民生活に密着した施策も急がれます。二十年後の鳥取県のため、喫緊の課題解決に一步一步努力して参ります。皆様のご支援を心よりお願いいたします。

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

ぎんなんは住んでよかった鳥取、 住みたくなる鳥取を目指します!



▲公明党公認
ぎんなん
やすとし
泰利

- ### 主な実績
- 子どもの医療費助成を18才まで拡大!
 - 山陰海岸ジオパークの活用・振興を推進!
 - 鳥取砂丘ビジターセンター
東館を建設、西館も建設予定!
 - 空の駅を創設・推進!
空港一体化、かろいちと県道で結ぶ!
 - 健康マイレージ制度の導入!
 - 鳥取県特別医療費助成制度の継続!

- ### ぎんなん泰利 略歴
- 昭和30年生まれ 鳥取市桂木在住 63歳
- 昭和46年 鳥取大学附属中学校卒
 - 昭和49年 県立鳥取西高等学校卒
 - 昭和56年 慶應義塾大学工学部卒
 - 昭和56年 日本チバガイギー(株)入社
 - 昭和61年 キンキ製造(株)入社
 - 平成10年 鳥取市議会議員 初当選
 - 平成15年 鳥取県議会議員 初当選(現在4期)
 - 桜ヶ丘中学校元PTA会長
 - 鳥取若桜会役員

- ①赤ちゃんからお年寄りまでの
全世代型福祉の充実
- ②特に、中高齢者の生活・健康対策に全力!
- ③人口減少に歯止!魅力ある産業育成
- ④空の駅・鳥取大砂丘・ジオパーク等で観光振興
- ⑤鳥取道4車線化、山陰道全面開通

くらし最優先の鳥取県に 実現めざします

- ▽ 国保料は、1兆円の公費負担で、協会けんぽ並みに大幅引き下げ
- ▽ 高校通学費助成、給付制奨学金の創設
- ▽ 子ども医療費、学校給食を無料に
- ▽ 学童保育1クラブ支援員2名以上堅持と充実
- ▽ 障がい者医療は元の無料に
- ▽ 中小企業振興・公契約条例で経営支援
- ▽ 家族農業を支援し食料自給の向上を
- ▽ 地域巡回バスの充実を支援
- ▽ 原発ゼロ。高根原発は廃炉に

■財源に、自由に使える基金310億円を活用

県	基金額(億円)	県民1人当たり(円)
鳥取県	310	95,300
高知県	241	47,600
岡山県	208	14,100
山口県	128	9,100
広島県	14,100	14,100

子育て支援で前進しました

- ◆ 子ども医療費無料を訴え、18才まで助成を実現
- ◆ 第3子、第2子一部の保育料が無料に
- ◆ 災害現場に直行し対策を提案
- ◆ 震災住宅一部損壊支援を復活
- ◆ 農地交付金の増額実現
- ◆ 税金の使い方をチェック
- ◆ 4分短縮に5.8億円の空港道路、赤字の外国船への支援など、多様な事業を批判

市民と野党の共闘に全力

- ◆ 増税反対意見書など共同して提案
- ◆ 安倍政権の暴走ストップに他の議員と共同
- ◆ 県民の声をトコトン守り伝える
- ◆ 共産党は質問討論の削減に反対してきました。一方で賛成した議員は議員報酬の増額にも賛成

一度きりしかない人生が 大切にされる政治に

私が学生の時、先輩が親の失業で大学をやめました。学費を下げたいと学費値下げの署名を集め国会に行きましたが、署名を受け取ったのは日本共産党だけでした。

他の国はもっと学費が安く、給付制の奨学金があります。政治のあり方が違えば、先輩はなりたかった教師になれていたかと思うとくやしく、一度きりの人生が大切にされる政治にしたいと、私は日本共産党に入りました。

3期12年間、くらし第一の政治に活動してきました。引き続き、一人ひとりのくらし、命、未来が大切にされる政治にがんばってまいります。

YouTube「市谷とも子チャンネル」QRコード→



日本共産党
市谷とも子

9条改憲NO! 消費税10%中止の1票は市谷とも子へ

- ### 21世紀 県政のキーワードは
- K** 教育 Kyouiku
 - 経済 Keizai
 - 環境 Kankyou
 - 観光 Kankou
 - 健康 Kenkou

地方創生の実現に全力投球!!



愛するふるさと鳥取のため 県政の発展に全力投球!!

教育はすべての原点!!

地方創生の切り札として ジオパークを活用!!

- 自然災害から県民の皆様の命と財産を守る体制の強化。
- 地元中小企業の育成で雇用拡大。
- 農業・水産業の六次産業化の促進と拡大。
- 山陰自動車道と山陰近畿自動車道の早期完成。[鳥取豊岡宮津道路]
- 子育て支援と青少年健全育成に多くの実績。
- 子どもさんやお孫さんの未来のために全力投球。
- 山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定が実現。[山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会長として尽力]
- 景観を保全し、観光振興と教育・研究に活用。



自由民主党公認
ふじなわ
喜和

若者や子どもたちが夢を持てる社会の実現

日本の、そして“とっとり”の未来を担う若者や子どもたちが、夢と希望を持てる社会を、また、子どもを安心して産み育てることのできる社会を創っていくことが、私たちの“とっとり”はもちろん日本の持続的発展に欠かせません。

子ども・若者育成支援に関する施策は、教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用を始めとして社会のほぼあらゆる分野にわたります。

鳥谷りゅうじは、この問題に、全力で取り組みます。

真の福祉社会の実現

障がいのある人や高齢者、子どもなど社会的、経済的に弱い立場の方々の切実な声をお聴きし、県政の場につかり届けていきます。

そして、真の福祉社会と云えるような、すべての人が安心して生きがいをもって暮らせる心豊かな“とっとり”の実現をめざします。

鳥谷りゅうじ 4つの約束

産業の振興と雇用の創出

“とっとり”の地域特性を活かした農林水産業、ものづくり産業や観光産業などの振興に力を入れるとともに、成長産業や6次産業化、海外との経済観光交流、若者のチャレンジなどの積極的な取り組みを支援することで、元気な地域産業、雇用の安定確保・拡大・創出につなげ、安心して豊かな生活ができ、活気に満ち溢れた“とっとり”を創ります。

都市基盤・機能の充実による圏域の発展

鳥取自動車道、山陰近畿自動車道、そしてこの二つの自動車道を連結する南北道路など、地域を結ぶ高速道路ネットワークの早期整備によるミッシングリンクの解消、山陰新幹線など鉄道高速化の早期実現、海外や国内他都市への窓口である鳥取港、鳥取空港のツインポートの高度利用を進め“とっとり”圏域の発展を目指します。

輝きつづける「ふるさと鳥取」に!!

島谷龍司が とっとり創生のとき 笑顔あふれる鳥取県に

～略歴～



しまたに
島谷りゅうじ

- 昭和34年4月14日生まれ(59歳)
- 昭和47年 賀陽小学校 卒業
- 昭和50年 湖東中学校 卒業
- 昭和53年 鳥取東高等学校 卒業
- 昭和57年 神戸大学経営学部 卒業
- 昭和57年 鳥取市役所 勤務
- 平成22年 市役所退職(協働推進課長)
- 平成22年 鳥取市議会議員 当選
- 平成27年 鳥取県議会議員 当選

(この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとり、そのまま掲載したものです。)

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会



議会は女性を待っている！



無所属(立憲民主党推薦)
尾崎かおる

「小さな声 届かなかった声」 届けます！

尾崎かおるのプロフィール

鳥取市吉方町生まれ(1953)
修立小学校、附属中学校
鳥取西高等学校、早稲田大学(英語英文科)
デューパー大学経営学修士/国連英検特A級・英検1級
三光汽船(株)に3年半勤務

私の思い

県政の場から離れて8年間、学校現場や福祉の役員として
直接様々な体験をしてきました。高齢者の現実、小規模事業
主の現状不安、担い手のない農業、医療通訳ボランティアでの
留学生家族の悩みなど沢山の思いを肌で感じ、また、小中学校
の出前授業では子ども達から大きな力をもらいました。
このような出会いから「夢のある鳥取県を創りたい、もう一度
小さかった声、届かなかった声を届けたい」という強い意志と
願いが膨らみ続けています。
是非、皆さんと共に県政を考え、歩ませて頂きたいと思ひます。

- ◆ 文化・芸術と地域づくり・観光を繋ぐ
- ◆ 地元産業の発展と若者の鳥取県定着
- ◆ 地域防災力の推進
- ◆ 男女共同参画の目で見える県政
- ◆ 高齢者・障がい者に安心を
- ◆ 原発から自然エネルギーへ
- ◆ ことも・若者の未来に投資

「子ども(18歳まで)の医療費無償化」 の実現をめざします！



**とはし
かずひろ**

私は2001年、大学卒業後研修医として大学病院でがん治療を経験し、西洋医学単体での治療の限界を認識しました。

その後、家族が乳がんを患ったのを契機に鳥取大学医学部・大学院に入学、血糖値とカルシウム・骨を中心とした全身疾患について学び、学位を取得し、**地域医療提供に3年間従事**しました。

医療提供の中で、食と健康の関連性を肌で感じ、それらに関する情報を普及させるため、**会社を設立**しました。

西洋医学の父・ヒポクラテスの言葉、「**食事で治せない病気は医者でも治せない**」をモットーにしております。

現在、鳥取県内の子ども(18歳まで)の医療費無償化推進プロジェクトを仲間を募り行っており、私が県議会議員にならせたことで、**実現に向けより加速**していきたくて考えています。
どうか、ご支援のほどよろしく
お願い致します。

LINE@



43歳

経歴
博士(医学)・歯科医師
日本抗加齢医学会専門医
智頭町議会議員

福浜たかひろ

プロフィール

鳥取 **32年目**

53歳

1966年 鳥根県浜田市生まれ(53歳)
1988年 鳥根大学教育学部卒業
日本海テレビ入社
ニュースキャスター、報道記者
2009年 「校庭芝生化」報道で
ギャラクシー大賞受賞(山陰初)
2012年 報道部長
2014年 鳥取市長選出馬
2015年 鳥取県議会議員 1期目
前期/総務教育常任委員会
後期/福祉生活病院常任委員会

地域活動

- ・元 中ノ郷小・中学校PTA会長
- ・中ノ郷ふるさとづくり協議会副会長
- ・青少年育成中ノ郷地区会議 会長
- ・保護司

感性の時代 心つながる鳥取を！



**たかひろ
福浜**

産業・観光

- ・起業家が日本一多いチャレンジ県へ → 伴走型支援でアイデアの商業化
- ・世界のアスリートや観光客が集う地へ → すなば(ビーチ)&マリン・スポーツ支援
- ・地理的ハンディ解消へ → 鳥取空港LCC導入、鳥取道4車線化、南北道の具体化

教育・子育て

- ・個々の感性を高める教育へ → 自然や芸術とのふれあい・実体験を増やす
- ・真の子育て王国へ → 保育士、放課後児童クラブ支援員の更なる賃金向上
- ・育児孤立や虐待の防止へ → 「地域で子育て」機運を高め、家庭を応援

福祉・生活

- ・日本一の健康長寿県へ → ガン対策推進と認知症予防ととり方方式の普及
- ・中山間地対策 → 小さな拠点づくりと空き家移住強化。住民主体の運送支援
- ・エリア外への資金流出抑制へ → エネルギー地産地消と蓄電技術の導入促進

若者に「選んで」もらえる鳥取を創る！

Uターン増には「やりがいある仕事」「所得向上」が不可欠。IT・AI・ロボット化で効率化を徹底し収益性を上げ、資金に還元。行政はシンクタンク(調査研究機関)機能を高め、情報提供と初期投資を支援。強い民間づくりを後押しする。

「AI社会を生きぬく」子どもたちを育む！

知識を詰め込んでもコンピューターが代替する時代。なぜそうなのか？論理的思考と感性(想像力・創造性)が最も重要。自己肯定感と対話力(思いやり)を高める教育を実現する。

「となり近所」の心が通い合う地域を創る！

IT化で世の中が便利になった一方、鳥取市では3軒に1軒が町内会未加入。地域防災・在宅介護・虐待防止等を高めるためにも地域の在り様を行政に問いかけ、対策を更に強化する。

鳥取県議会議員選挙

投票日 4月7日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで (ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の証明書」の提示等により、引き続き鳥取県内に住所を有することの確認を受けて、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

(この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとって、そのまま掲載したものです。)